



図5： ILAS-IIが南極上空で測定した各種微量気体成分の高度分布。横軸は、2003年1月から10月までの経過日数。a)は、観測点の緯度経度。b)以降の図の縦軸は高度。カラーで各種気体成分(b:オゾン、c:硝酸、d:二酸化窒素、e:亜酸化窒素、f:メタン)の濃度分布を示す。図b)の8月から10月の高度20km付近に、オゾンホールが拡大が見られる。